

井伊直弼 <ペリー来航>直後の幕政の困難に登場し、開国を進める一方で尊王派を徹底的に弾圧して、暗殺された。

いいなおすけ

・ ・ ・ ・ ・ 1815 = 第11代彦根藩主の十四男として城内で生まれた。

水野志成老中 1818 = 3歳 :

群書類従完結 1819 = 4歳 : 側室だった母を失う。

シボ 山崎鴻庵 1824 = 9歳 :

宮嶽三十六景 1831 = 16歳 : 父とも死別し、藩主を継いだ長兄から300俵を与えられ、城外の屋敷に移住。

天保大飢饉始 1833 = 18歳 :

高島砲術 ・ ・ 1834 = 19歳 : 某大名養子の口があり江戸に出るも、異母弟が選ばれたため、

芥川直木賞始 1935 = 20歳 : 「埋木舎の記」を著した後、帰藩。

大塩平八郎乱 1837 = 22歳 :

以後、埋木舎と名づけた屋敷で文武両道に励み、居合術・禅・茶道など何れも奥義を極める。

天保改革弾圧 1842 = 27歳 : 国学者長野義言と出会って師弟の契りを結び、以後国学に没頭。

長兄直亮が病気となったため、

阿部正弘首座 1845 = 30歳 :

孝明天皇 ・ ・ 1846 = 31歳 : 江戸に出て世子となる。

・ ・ ・ ・ ・ 1847 = 32歳 : 相州警備の幕命を受けるも、京都守護の家柄として反発、以後阿部正弘を嫌う。

国定忠治磔 ・ 1850 = 35歳 :

尊徳報徳論 ・ 1851 = 36歳 : 長兄が死去し、13代彦根藩主となった。養父の遺志と称して金15万両を領内の士民にあまねく分配し、

初入部するや、前代の弊政を一掃すべく、改革に着手する。

ペリー来航 ・ 1853 = 38歳 :

江戸から帰藩直後に、*ペリーが来航した際には相州警備の任を果たして賞された後出府、幕府の諮問にこ

たえ、開国を主張する意見書を出すも、徳川斉昭らに受け入れられず、

開国開港 ・ ・ 1854 = 39歳 :

ペリー再来航に、江戸城内で佐倉藩主堀田正睦とともに斉昭ら打ち払い派と激論。京都守護となる。

安政大地震 ・ 1855 = 40歳 :

堀田正睦を推して老中に就任させたことから、対立は抜きさしならぬものとなる。

蕃書調所 ・ ・ 1857 = 42歳 :

老中堀田正睦に日米修好通商条約の調印はやむをえないという意向を伝えた、

五ヶ国条約 ・ 1858 = 43歳 :

*大老に就任、勅許を得られないままに日米修好通商条約に調印。幕府の条約調印は遺憾であるという内容の勅諭が水戸藩へ下った(戊午の密勅)。慶福を將軍継嗣と定め、これに反対した斉昭、徳川慶恕、松平慶永に謹慎を命じ、徳川慶篤と一橋慶喜を登城禁止としたのはじめ、

安政の大獄 ・ 1859 = 44歳 :

*降勅を画策した反対派の勢力に、徹底した弾圧<安政の大獄>。

桜田門外変 ・ 1860 = 45歳 :

*江戸城桜田門外で水戸浪士らに登城途中を襲撃され殺害された。